

# 念願のインターハイ（全国高校総体）出場！

決定

## 中野雄太 シングルスで準優勝！

5月26～28日、宇都宮市屋板運動場で、インターハイ予選県大会（個人戦）が行われました。



26日の個人戦の男子ダブルスでは、県大会初出場の三浦・岩永組は惜しくもタイブレーク(6-6)から競り負けてしまいました。岡崎・山村組と日原・前田組(2年生)はみごとに1勝をあげました。さらに、柄澤・櫻井組は3回戦(ベスト16)まで勝ち上がり、第4シードにいた中野・利光組はベスト4に入り、3位入賞を果たしました。女子ダブルスでは、小澤・小田組がタイブレーク(6-6)から競り負けてしまいました。第8シードの大塚・本間組は4回戦(ベスト8)まで勝ち上がり、秦・吉川組はみごと3位入賞しました。しかし、ダブルスのインターハイ枠は、優勝ペアのみ、インターハイへの夢は翌日のシングルスに託されました。

27日の個人戦の男子シングルスでは、櫻井、山村は1回戦で敗れ、利光、柄澤が2回戦でシード選手に敗れましたが、中野が3回戦で、第2シードの岩瀬(足利工大附高)を⑥-3で下し、続いて第7シードの熊倉(小山南)を⑥-0で破り、ベスト4に入りました。

準決勝は翌日に伸び、28日の朝9時より、第3シードの金子(宇都宮南)、第5シードの落合(栃木)を破って勝ち上がってきたスーパー1年生の水淵(足利工大附高)との対戦となりました。準決勝からは8ゲームマッチ……落ち着いた立ち上がりで、競り合いながらも中野が5-0とリードしましたが、徐々に調子をあげてきた水淵が、激しく追い上げ、7-6と迫ってきました。この第14ゲーム目、30-30 から2本連続で、中野のナイスサーブが相手のリターンミスを誘い、長く厳しい戦いにピリオドが打たれ、中野の決勝進出＝インターハイ出場が決まりました。決勝は、油布(足利工大附高)に1-⑧で敗れましたが、みごとに創設3年目の幸福の科学学園の名を“インターハイ＝全国高校総体”という高校生最高の舞台に初めて披露することになりました。

中野本人のこれまでの努力はもちろん、支えてくださったたり、力を貸して下さったたくさんの皆様に感謝したいと思います。インターハイ＝全国高校総体は、新潟県長岡市などで、8月9日から(テニス競技の男子シングルスは、8月13日から)おこなわれます。

